第10期宇部市高齢者福祉計画に関する調査及び策定業務委託仕様書

1 委託業務内容

- (1) 「宇部市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査業務」
- (2) 「宇部市在宅介護実態調査業務」
- (3) 「宇部市高齢者福祉計画策定業務」

2 業務目的

宇部市高齢者福祉計画（老人福祉法第20条の8に基づく「老人福祉計画」、介護保険法第117条に基づく「介護保険事業計画」及び共生社会の実現を推進するための認知症基本法第13条に基づく「認知症施策推進計画」を一体化した計画）の策定にあたり、日常生活圏域における高齢者の状況を把握し、今後の高齢者施策の方向性を定める基礎資料とするための調査・分析等を行う。

また、上記調査・分析等を踏まえ、第10期宇部市高齢者福祉計画（令和9年度から令和11年度までの3か年）を策定する。

3 履行期間

契約締結の日から令和9年3月31日までとする。

4 提案限度額

12,412,650円

(内訳)

- (1) 宇部市介護予防・生活圏域ニーズ調査業務
3,924,000円（消費税及び地方消費税を含む。）
- (2) 宇部市在宅介護実態調査業務
2,372,650円（消費税及び地方消費税を含む。）
- (3) 宇部市高齢者福祉計画策定業務
6,116,000円（消費税及び地方消費税を含む。）

5 業務の内容

次に定める業務内容を実行するものとする。また今後、本市が必要と認められる業務が発生した場合は、協議の上、速やかに実施するものとする。

《令和7年度実施》

【宇部市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査業務及び宇部市在宅介護実態調査業務】

(1) 調査概要

調査名	宇部市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	宇部市在宅介護実態調査
調査目的	・要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定すること ・介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること	「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。
調査対象	要介護1～5以外の高齢者（要支援者・総合事業対象者・その他一般高齢者）	在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける（受けた）方
配布数	3,400部 ※前回の回収率は72.5%	1,050部 ※前回の回収率は58.6%
調査方法	郵送法	郵送法
調査票種類数	1種	1種
集計方法	単純集計、属性別クロス集計、その他分析上必要な設問間のクロス集計	単純集計、属性別クロス集計、本市が保有する認定情報、その他分析上必要な設問間のクロス集計

(2) 調査票の作成・印刷・発送・回収

ア アンケート調査票の設問設計は国から示された調査票をベースとするが、市独自の設問設定にあたり、前回調査との比較や地域分析等多面的に分析できるよう設問項目の提案等の支援を行うこと。

イ アンケート調査票の印刷・製本、配布用・回収用封筒の作成及び封入・宛名ラベル貼り付け作業を行うこと。また、宇部市が準備する調査対象向けのチラシも同封すること。

ウ 郵送にて発送する。返信場所は宇部市とし、宇部市に届いたアンケート結果を回収する。なお、発送・回収にかかる手配や手続きを行うとともに、発送・回収にかかる郵送費を受託者が負担することとする。

(3) データ入力・集計・分析

- ア 調査結果について、多面的な視点から分析できるよう、設問ごとのグラフや票、クロス集計等を作成すること。
- イ 調査結果を入力したCSVファイルを地域包括ケアシステム「見える化」システムに登録できるよう支援すること。
※今後国から示される「データ送信用ファイル入力仕様書」に準じること。
- ウ 日常生活圏域（6圏域）ごとに調査目的を反映するとともに、高齢者等の課題を抽出し、因果関係を分析すること。
- エ 本市の特徴が把握できるよう過去調査や全国平均等との比較分析を行うこと。
- オ 国が示す方針及び上記アからエを踏まえ、今後の事業展開等について提案すること。

(4) 成果品の納品

本業務による成果は、宇部市に帰属する。

- ア 調査結果集計表
- イ 調査結果報告書 A4版 一色刷 50部（ファイル綴じ可）
（内容）
  - ・調査の趣旨や回答者の属性等
  - ・調査結果の概要、総括
  - ・分析結果（リスク分析、各設問間クロス集計など）
※宇部市在宅介護実態調査については、認定情報とのクロス集計含む
  - ・分析処理するための設定条件の解説
  - ・日常生活圏域ごとの地域特性 など
その他協議のうえ決定することとする。
- ウ 回収調査表
- エ 収録データ一式
収集データ及び報告書データの電子ファイル（文書については Microsoft Word で、データは Microsoft Excel を使用すること。）
上記（1）の基礎調査部分の集計票については、「見える化システム」に対応できる電子ファイルを作成すること。

(5) 本業務に関する情報提供支援

受託業者は、本計画の策定に関する情報等について、国、県及び他自治体の情報を適宜提供すること。

(6) 納品の期日

令和8年3月31日

- (7) 委託料の支払い
納品・検査後、支払いを行う。

《令和8年度実施》

【宇部市高齢者福祉計画策定業務】

宇部市における課題を把握するとともに、地域特性に沿った計画とすること。
なお、計画策定に当たっては、関係法令及び国が示す方針等を踏まえ、関係する国や県、市の上位計画やその他の計画とも連動し、調和をとること。

- (1) 第9期計画の検証（実績及び進捗状況把握）
- ア 介護保険事業実績についての現状分析と課題整理
  - イ 地域支援事業実績についての現状分析と課題整理
  - ウ 認知症施策についての現状分析と課題整理
  - エ 日常生活圏域ごとの介護サービス利用実態、課題整理と分析
  - オ 高齢者の状態・生活環境の把握
  - カ 要介護認定者等の現状分析
- (2) 第10期計画策定に必要な推計
- ア 総人口及び高齢者人口
  - イ 被保険者数、認定者数及び事業対象者数
  - ウ 認知症高齢者数
  - エ ひとり暮らし高齢者数
  - オ 介護人材の数
- (3) 介護保険サービス利用者等の推計
サービスごとの利用者数の推計値の算出
- (4) 介護保険サービス必要量の推計
- ア 人口推計、給付実績、各種調査結果等を踏まえた推計値の算出
  - イ 地域課題及び地域医療構想を踏まえた、必要施設種類及び床数の算出
- (5) 介護事業所、認知症を含む高齢者とその介護家族等の実態把握や聞き取り等、計画の策定に必要な調査（市独自調査含む）及び集計
- (6) 地域支援事業について
- ア 総合事業サービスにおける利用者数及びサービス必要量の推計値を算出
  - イ 事業ごとに目指すビジョンを設定し、検討事項に必要な提案を行う

- (7) 介護サービス見込み量を踏まえた保険料の算出及び設定
本市の意向を踏まえ、見える化システムを利用した算出を行うこと。
また、算出の時期についても、柔軟な対応をすること。
- (8) 計画骨子案及び計画書の作成
ア 分析結果及び国が示す方針等を踏まえた計画書
イ 基本理念、基本目標等の設定
ウ 宇部市高齢者福祉計画審議会での意見やパブリックコメント等の結果を踏まえた計画書
エ 本市の特徴を捉えた独自性のある計画書
- (9) 宇部市高齢者福祉計画審議会の運営支援業務
宇部市高齢者福祉計画審議会の議事進行が円滑に運営できるよう支援をすること。令和8年度中に3回を実施。委員会の開催前に事前協議を行い、必要な資料などを作成する。また、会議録を作成する。
- (10) パブリックコメントの実施支援業務
パブリックコメントの意見に対して、助言・支援を行うこと。
- (11) 成果品の納品
本業務による成果は、宇部市に帰属する。
【計画書】
・計画書（A4版 フルカラー 90頁程度 網代綴じ製本） 150部
・計画書電子データ（電子媒体）1部
・その他資料 データー式 1部

【概要版】
・概要版（A3版 両面 フルカラー ） 150部
・概要版電子データ（電子媒体）1部
- (12) 納品の期日
令和9年3月31日
- (13) 委託料の支払い
納品・検査後、支払いを行う。
- (14) 進捗状況の報告
ア 業務の進捗状況を毎月報告するとともに、適宜打ち合わせを行うこと。
イ 国及び県が示す方針や情報に基づき、スケジュールに沿って遅延なく対応すること。

ウ 国及び県から新たな方針が示された場合には、状況の変化を把握し、宇部市と協議の上対応すること。

(15) 留意事項

ア これまでの宇部市の高齢者福祉計画を踏まえること。

イ 「見える化システム」や「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「在宅介護実態調査」の結果等を活用・反映すること。

ウ イラスト等を使用する場合は、受託者が著作の使用の権利を有するものを使用すること。

6 その他

(1) 受託者は、作業の方法や順序及び作業実施に必要な事項について事前に打合せを行い、国や県が示す指針に沿って作業を進めること。また、業務遂行中の打合せは必要に応じて行う。その際の議事録は、受託者側で作成するものとする。

(2) 業務内容、データ内容その他この契約履行により知り得た事項を第三者に漏らし又は委託の範囲を超えて利用してはならない。

(3) 業務遂行にあたり、個人情報の取り扱いについては個人情報の保護に関する法律に基づき適正な個人情報の取り扱いを行うこと。

(4) 委託業務に伴って作成したイラストや図表等の著作権は、市に帰属する。

(5) 宇部市への報告等に誤りや不備が発見された場合は、委託期間完了後であっても、第10期計画期間中は受託者の責任において無償で訂正を行うものとする。

(6) 本仕様書について定めのない事項や疑義が生じた場合又は本業務履行上必要な基本事項に変更の必要が認められた場合、委託者と受託者間で協議の上定めるものとする。